

問1 16世紀、カトリック教会の一部門として結成されたイエズス会が、日本をはじめとするアジアや南米への布教活動を積極的に行った背景として最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島公立入試 類似)

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会が失った勢力を回復しようとしたため | 2. 十字軍の遠征が失敗したため、軍事力ではなく信仰によって聖地を奪還しようとしたため | 3. プロテスタントの教えを世界中に広めることで、教皇の権威をさらに高めようとしたため | 4. ルネサンスの影響で科学技術が発達し、キリスト教以外の新しい宗教を広める必要があったため |
|--|---|---|--|

問2 戦国時代、鉄砲の伝来などにより戦術が変化し、大規模な軍事力とそれを支える安定した領地経営が不可欠となりました。こうした中、戦国大名が領国内の紛争を禁じたり、年貢の徴収を確実にしたりする目的で定めた「分国法」の性質として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山公立入試 類似)

- |                                 |  |   |  |
|---------------------------------|--|---|--|
| 1. 朝廷が全国の公家や武士に対して一律に適用した法律である。 | 2. 幕府の許可を得た大名だけが、他国との貿易を制限するために定めた規則である。 | 3. 戦国大名が、室町幕府の法によらずに自らの領土を統治するために独自に定めた法律である。 | 4. 鎌倉時代の慣習法を整理し、武士の裁判を公平に行うために幕府が定めた法律である。 |
|---------------------------------|--|---|--|

問3 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した日本最大級の銀山で、2007年に世界文化遺産に登録された場所を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取公立入試 類似)

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石見銀山 | 2. 生野銀山 | 3. 別子銅山 | 4. 佐渡金山 |
|---------|---------|---------|---------|

問4 日本に鉄砲が伝来した16世紀半ばの世界情勢について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)

- |   |                                     |   |                                    |
|---|-------------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. ドイツのルターが、ローマ教皇や教会の権威を否定し宗教改革を開始していた。 | 2. ムハンマドがイスラム教を創始し、アラビア半島の統一を進めていた。 | 3. チンギス・ハンがモンゴル帝国を建国し、ユーラシア大陸の広範囲を支配していた。 | 4. アメリカでリンカーンが大統領に就任し、南北戦争が勃発していた。 |
|---|-------------------------------------|---|------------------------------------|

問5 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国内を統治し、家臣や民衆を統制するために独自に制定した法律を何というか。 (2021年 沖縄公立入試 類似)

- |          |        |           |          |
|----------|--------|-----------|----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 分国法 | 3. 公事方御定書 | 4. 武家諸法度 |
|----------|--------|-----------|----------|

問6 戦国時代に各地を支配した戦国大名の多くは、「下剋上」という風潮の中で台頭しました。この時代における「下剋上」の説明として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 (2016年 静岡公立入試 類似)

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1. 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。 | 2. 農民たちが宗教的な団結を強めることで、武士の支配を実力で排除して自治を行った。 | 3. 幕府から任命された守護が、自らの実力を高めて隣国を吸収し、支配権を世襲していった。 | 4. 朝廷の権威を背景とした下級武士が、実力行使によって幕府の政治を批判し、地位を向上させた。 |
|---|--|--|---|

問7 室町時代後期から戦国時代にかけて、実力のある者が上位の者を打ち倒す「下剋上」の風潮が広がる中、各地の戦国大名は自らの力で領国を統治する必要がありました。このように、戦国大名が領国内の家臣や民衆の行動を規制し、支配を維持するために独自に定めた法を何といいますか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

- |        |          |           |          |
|--------|----------|-----------|----------|
| 1. 分国法 | 2. 武家諸法度 | 3. 公事方御定書 | 4. 御成敗式目 |
|--------|----------|-----------|----------|

問8 1549年、日本の鹿児島に上陸し、キリスト教を日本に初めて伝えたイエズス会の宣教師は誰ですか。 (2017年 京都公立入試 類似)

- |                |            |         |              |
|----------------|------------|---------|--------------|
| 1. フランシスコ・ザビエル | 2. マルコ・ポーロ | 3. マゼラン | 4. ヴァスコ・ダ・ガマ |
|----------------|------------|---------|--------------|

問9 加賀の一向一揆が、同時期に発生した「土一揆」などの他の社会運動と異なり、守護大名を倒して約100年もの長期にわたる自治を維持できた最大の要因として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 高知公立入試 類似)

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 浄土真宗（一向宗）という宗教的な信仰を通じて、農民や地侍が極めて強固に団結していたから。 | 2. 惣村と呼ばれる村の自治組織が、室町幕府の将軍から直接的な軍事的支援を受けていたから。 | 3. 加賀国においてのみ、鉄砲などの新式兵器を輸入するための自由貿易港が独占的に認められていたから。 | 4. 守護大名が自ら権限を放棄し、農民たちに土地の所有権と徴税権を全面的に譲渡したから。 |
|---|---|--|--|

問10 15世紀後半から約11年間にわたって京都を中心に続き、その後の略年表において「下剋上」の風潮が全国に広まるきっかけとして記される戦乱はどれですか。 (2018年 静岡公立入試 類似)

- |         |          |         |         |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 応仁の乱 | 2. 観応の擾乱 | 3. 壬申の乱 | 4. 承久の乱 |
|---------|----------|---------|---------|

問11 戦国大名が領国内の武士や民衆を統制するために定めた「分国法（分国章程）」に関する記述として最も適切なものはどれですか。なお、法の中には家臣同士の私的な争いを禁じる「喧嘩両成敗」などの規定が含まれているものとします。 (2018年 秋田県公立入試 類似)

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 家臣たちが実力で主君をしのぐ下剋上の動きを抑え、領内の秩序を維持するために制定された。 | 2. 農民が団結して一揆を起こすことを推奨し、幕府の権威を完全に否定するために制定された。 | 3. 朝廷から与えられた公家法をそのまま適用し、京都の文化を地方に広めるために制定された。 | 4. 全国の戦国大名が共通のルールを持つことで、大名間の和平を促進するために制定された。 |
|--|---|---|--|

問12 16世紀半ば、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが日本を訪れ、キリスト教を伝えた当時の世界情勢に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。 | 2. 十字軍の遠征が成功したことで、キリスト教勢力がイスラム教勢力を圧倒し、アジア全域での布教が容易になっていた。 | 3. 宗教改革によって誕生したプロテスタントの諸国が、アジアにおける植民地支配を広めるために宣教師を派遣していた。 | 4. ルネサンスによる科学の発達により、日本の戦国大名から西洋の進んだ宗教や文化を導入したいという正式な要請があった。 |
|--|---|---|---|

問13 戦国時代の日本において、全国統一の動きを加速させる要因となった鉄砲について、その伝来の経緯を説明したものとして正しいものはどれか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- |                                    |                                       |   |   |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。 | 2. 日明貿易の進展に伴い、日本の商人が中国から直接買い付けて持ち帰った。 | 3. キリスト教の布教を目的としたスペイン人の宣教師によって、平戸で初めて紹介された。 | 4. 元寇の際に、元軍が使用していた「てつほう」を日本側が改良して国産化した。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会が失った勢力を回復しようとしたため	16世紀のヨーロッパでは、ルターやカルヴァンらによる宗教改革が起こり、カトリック教会は多くの信者を失うなど大きな打撃を受けました。これに対抗するため、カトリック教会内部の立て直しを目指してイグナチオ・デ・ロヨラらによってイエズス会が結成されました。彼らは大航海時代の流れに乗り、失った勢力を補うべく、日本を含む海外への熱心な布教活動を展開しました。
問2	答え 3 戦国大名が、室町幕府の法によらずに自らの領土を統治するために独自に定めた法律である。	戦国時代には戦術が騎馬戦から足軽や鉄砲を用いた集団戦へと変化し、大名は家臣や農民を効率的に動員する必要がありました。そのため、幕府の権威を否定し、自分の領国内（分国）のルールを自分自身で決定する分国法が作られました。これには「喧嘩両成敗」のように私的な争いを禁じ、大名による裁判を徹底させる内容などが含まれています。
問3	答え 1 石見銀山	島根県大田市に位置するこの遺跡は、16世紀に博多の豪商らによって本格的な開発が始まり、江戸時代には幕府の直轄地（天領）として重要な財源となりました。良質な銀を大量に産出したことから、東アジアやヨーロッパとの交易において極めて重要な役割を果たしたことが評価され、世界文化遺産に登録されています。
問4	答え 1 ドイツのルターが、ローマ教皇や教会の権威を否定し宗教改革を開始していた。	鉄砲が伝来した1543年は16世紀にあたります。この時期、ドイツではルターによる宗教改革が進んでいました。他の選択肢について、イスラム教の創始は7世紀、モンゴル帝国の建国は13世紀初頭、アメリカ南北戦争は19世紀の出来事であり、いずれも鉄砲伝来の時期とは重なりません。
問5	答え 2 分国法	室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地の戦国大名は実力で領土を治める必要がありました。そこで、領国支配を安定させるために独自の法規範である分国法を制定しました。これは、大名の権力を強化し、家臣同士の私的な争いを禁じる役割を果たしました。
問6	答え 1 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。	戦国時代には、本来は主君に仕える立場であった守護代や国人などが、武力などの実力によって守護大名を追放したり、倒したりして自らが戦国大名へと成長する事例が多く見られました。これにより、室町幕府の任命に基づかない新しい支配体制が各地に形成されました。他の選択肢は一向一揆や守護大名の強化、幕末の動きを説明したものです。
問7	答え 1 分国法	戦国時代には幕府の権威が衰え、全国一律の法が機能しなくなりました。そのため、各地の戦国大名は自分の領地（分国）を治めるために独自のルールを制定しました。今川仮名目録や、武田氏の甲州法度次第などが有名です。江戸時代に幕府が大名を統制するために出した武家諸法度とは、制定の主体や目的が異なります。
問8	答え 1 フランシスコ・ザビエル	スペイン出身の宣教師で、カトリック教会の改革を目指したイエズス会の創立メンバーの一人です。1549年に鹿児島へ到着し、その後、山口や京都などで布教活動を行いました。当時、ヨーロッパでは宗教改革が起こっており、カトリック教会は新たな信者を得るために海外への布教に力を入れていました。
問9	答え 1 浄土真宗（一向宗）という宗教的な信仰を通じて、農民や地侍が極めて強固に団結していたから。	加賀の一向一揆の最大の特徴は、浄土真宗の信仰に基づく組織的な団結力にあります。各地の寺院を拠点に、武士だけでなく一般の農民までが教えのもとに結集したことで、従来の守護大名の支配を跳ね返すほどの軍事力と政治力を持つに至りました。この宗教的なネットワークが、単なる不満による一時的な暴動（土一揆）とは異なる、持続的な自治体制を支える基盤となりました。
問10	答え 1 応仁の乱	8代将軍足利義政の跡継ぎ問題をきっかけに、守護大名の細川氏と山名氏が対立して始まったのが応仁の乱です。この乱によって幕府の権威は失墜し、下の者が実力で上の者を倒す「下剋上」の風潮が強まり、戦国時代へと移行する大きな転換点となりました。
問11	答え 1 家臣たちが実力で主君をしのぐ下剋上の動きを抑え、領内の秩序を維持するために制定された。	戦国大名は、実力至上主義による下剋上が自分の身に及ぶことを防ぐ必要がありました。そのため、家臣間の私闘を禁じ、大名の裁決に従わせることで領国支配を安定させようと分国法を制定しました。一揆はむしろ大名が警戒し、鎮圧すべき対象でした。
問12	答え 1 ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。	ルターやカルヴァンによる宗教改革によってカトリック教会の権威が揺らぐ中、カトリック側は勢力回復のためにアジアやアメリカ大陸への布教を強化した。この流れの中で、1534年に結成されたイエズス会のザビエルが日本へ派遣されることとなった。プロテスタントが本格的に日本に関わるのは、17世紀のオランダやイギリスの来航を待つことになる。
問13	答え 1 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。	鉄砲は1543年、鹿児島県の種子島に漂着したポルトガル人によって伝えられました。当時の島主であった種子島時堯がこれを買取り、刀鍛冶に命じて国産化を試みたことが、その後の日本国内での普及につながりました。モンゴル襲来時に使用された「てつほう」は火薬を用いた投擲武器であり、火縄銃とは構造が異なります。